



遠藤れい子ひまわりレポート

○遠藤れい子事務所 〒940-0052 長岡市神田町3-1-3
☎ 0258-32-1741 fax 0258-32-6443



雪国のこと全く考えない、真冬の解散

高齢者・障がい者・労働者、地方自治も民主主義も見捨てられる危険

《説明しないまま解散。私たちは「白紙委任」はしない！》

- * 高市首相本人の政治資金問題！
- * 自民党裏金議員を全面公認。「政治とカネ」はまだ終わってはいない。企業団体献金の禁止が必要だ！
- * 統一教会と自民党の癒着、290人が選挙応援受ける！
- * 物価高騰に無策。解散で急に「食料品ゼロ『検討』持ち出す。
- * 「台湾有事」発言が原因で日中関係悪化！撤回・反省なし。
- * 国際法を無視するトランプ米政権に無批判の追従姿勢。
- * 脱法的な維新議員の「国保逃れ」、45%が「兼職」のヒドサ。
- * 民主主義の骨幹に係る「議員定数削減」の独裁的な自維合意の押し付け。
- * 思想信条に踏み込む「スパイ防止法」の制定狙う。
- 施政方針演説もせず、代表質問も予算委員会も開かずに解散するなど、議会制民主主義を無視する暴挙！
- 『国の根幹にかかわる重要政策の大転換だ』と述べるが、国会で議論もせず、白紙委任をしろなど、もってのほかの暴挙！

追求を逃れるための無茶苦茶な冒頭解散
 「高市早苗が総理大臣で良いのか、国民に決めていただく」～冗談じゃない。「白紙委任」は戦争への道！

「政治とカネ」、「統一教会」との癒着、「台湾有事は存立危機事態発言」など数々の疑問に何一つ答えず、冒頭解散。「高市早苗が、総理大臣で良いのかどうか、国民に決めてもらう」など、議

会制民主主義を無視した『白紙委任をして』と言わんばかりの傲慢な姿勢。

悲惨な歴史の再来を許さない
 かつてヒトラーは1933年に「全権委任法」を手に

遠藤れい子の笑顔でファイト

アオーレ前で「原発再稼働反対」抗議行動 再稼働5時間後に不具合発生、原発やっぱりダメ！

1月20日、アオーレ前で「東電の柏崎刈羽原発再稼働に抗議する」街頭行動が行われ、遠藤れい子は笠井のりお市議、はっとり耕一市議とともに参加し、発言しました。

柏崎刈羽原発6号機は制御棒の不具合で再稼働が1日延期となり、

21日午後7時2分に再稼働したものの、5時間後の22日午前0時28分に制御棒を引き抜く作業中に警報が鳴る、何らかの不具合が発生し、東電は22日午後に原子炉を停止しました。

衆議院選挙前の街頭演説会

1月25日、雪降るアオーレ前で、藤野保史元衆院議員を迎え、日本共産党街頭演説会が開かれました。遠藤れい子前県議は、「国民の暮らしを守る日本共産党の躍進で、政治を変えましょう。」と訴えました。



入れ、1945年までに約600万人のユダヤ人を殺害した歴史があります。「自民・維新連立合意」で「政治とカネ」をうやむやに、衆議院定数の「自動削減」など、日本の民主主義を踏みしめる内容を国会審

議もしないうちに解散するなど絶対に許せません。**ブレずに国民のために働く日本共産党の躍進で政治を変えましょう**
 アメリカ言いなり、財界・大企業優先の政治を改め、国民のための政治を！